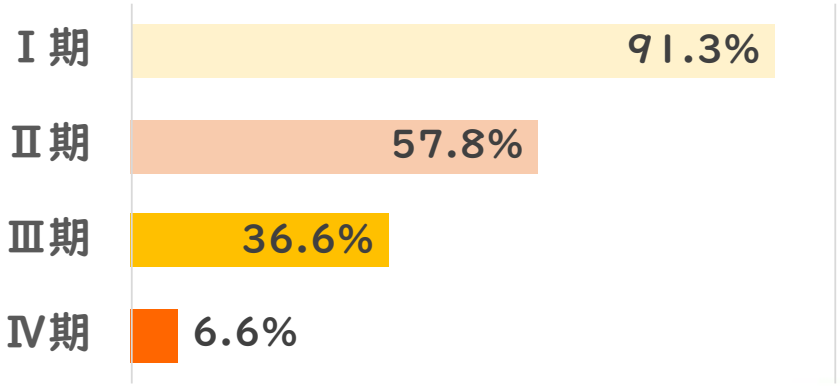
胃がん検診で「要精密検査」となった方へ

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

早期の胃がんは自覚症状がほとんどありません。「要精密検査」と判定された場合には
必ず精密検査を受けてください。
精密検査を受けないと、がん検診の効果はなくなってしまいます。

胃がんの死亡数は
男性２位、女性５位※ですが、
早期発見・早期治療で
９割以上が治ります
※2020年の順位「がんの統計2022年 」

胃がん10年相対生存率



【胃がんの精密検査】

・精密検査の方法には、「**胃内視鏡検査**」などがありますが、疑わしい病変の部位や悪性の可能性の有無により異なる場合があります。

・検査の際、食事、水分、日頃服用中のお薬、当日の車の運転などの制限がありますので、詳しくは予約の際に医療機関にお尋ねください。

・要精密検査となった方の中で、がんが発見される確率は約2%※です。
※厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」

＜精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください＞
- 胃がん検診結果通知書
- 胃がん精密検査依頼書（あれば）
- マイナ保険証等（健保の資格確認ができるもの）

令和３（2021）年 12 月 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録 2009 年 10 年生存率集計